



大型放射光施設等活用促進事業  
姫路市企業人材育成プログラム2013

## ものづくりのための放射光分析実習

～姫路市における産学連携の推進～

参加された方に大変ご好評いただいております。ぜひ一度体験してみてください。

放射光施設なんて、我が社には関係がないと思われていませんか。

どんなことができるか知りたいけれど、敷居が高いと思われていませんか。そんな企業の皆様に、放射光施設での材料分析を体験していただきます。放射光分析は、材料の性質を決める元素の化学状態を解析できるため、材料開発や表面処理、環境分析などの産業分野で活用されています。

初心者大歓迎。難しい用語や理屈がわからなくても大丈夫です。講師が丁寧に指導します。また、計測サンプルの持ち込みも承っております。日本で初めての産業用分析ビームラインを利用して、貴社の製品開発の問題点を解決してみませんか。



### 【日時】

平成25年6月18日(火)・19日(水)の2日間 10時から17時

### 【場所】

ニュースバル放射光施設(赤穂郡上郡町光都1-1-2)※現地集合

### 【定員】

10名(1企業2名まで)姫路市内の事業所(主に製造業等)に勤務する方

### 【参加費】

無料(交通費・昼食代は各自負担)

### 【主催】

姫路市・(公)兵庫県立大学高度産業科学技術研究所・  
同大学産学連携機構

### 【後援】

姫路商工会議所・姫路経営者協会  
21世紀播磨科学技術フォーラム・  
はりま産学交流会・(公財)ひょうご科学技術協会

計測試料の持ち込みを希望される方は事前にご相談ください。  
5社程度を予定(裏面参照)

講師 (公)兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 所長 宮本修治

教授 神田一浩

実習担当 (同)シンクロトンアナリシスLLC

上村雅治, 長谷川孝行

- 放射光の原理とその特徴、放射光を使った分析の仕組みが、専門家によるわかりやすい講義で理解できます。

放射光施設や放射光施設を利用した材料分析についての講義  
基本的な用語解説や分析手法・安全講習まで指導します。

- 試料の装置への固定方法や実際の測定方法などについて解説します。  
(実習予定内容)  
1日目 イオウ化合物の吸収分光測定、粉末試料の固定法など  
2日目 窒化ホウ素薄膜、アモルファスカーボン薄膜の吸収分光測定など
- 計測結果の読み方や解析方法について説明します。
- 測定の待ち時間にニュースバル放射光施設の見学も行います。

産業用分析ビーム  
ラインBL05 全景



# 講師 紹介

(公)兵庫県立大学  
高度産業科学技術研究所  
所長

(公)兵庫県立大学  
高度産業科学技術研究所  
教授



みやもと しゅうじ  
**宮本 修治 氏**

かんだ かずひろ  
**神田 一浩 氏**

miyamoto@lasti.u-hyogo.ac.jp

kanda@lasti.u-hyogo.ac.jp

## ○ニュースバル放射光施設に関する問い合わせ

〒678-1205兵庫県赤穂郡上郡町光都1-1-2  
(公)兵庫県立大学高度産業科学技術研究所  
ニュースバル放射光施設共用促進室  
<http://www.lasti.u-hyogo.ac.jp/NS/>

ニュースバル放射光施設では、今回の実習とは別に、トライアルユース(無償利用)制度を設け、産業利用を促進しています。トライアルユースの利用成果をホームページで公開していますので、ご覧ください。

TEL: 0791-58-2543  
FAX: 0791-58-2504  
e-mail: kyoyo@lasti.u-hyogo.ac.jp

○産業用分析ビームラインに関する問い合わせ  
合同会社シンクロトロンアナリシスLLC(SALLC)  
<http://sallc.jp/>

担当: 深田 昇  
E-mail: noboru\_fukada@sallc.jp



# 計測試料の持ち込みについて

計測試料に関することは、(公)兵庫県立大学高度産業科学技術研究所が窓口となります。

- (1) 持ち込み試料は、原則1社1試料までとします。
- (2) 計測適応の可否や、試料調整の要否を判断するため、事前にメール、あるいは電話で試料に関する技術連絡・相談をお願いします。試料は実習日の1週間前までに、郵送等お願いします。
- (3) 実習では、持ち込み試料の中から、受講者にわかりやすい試料を選択して計測します。
- (4) 実習時に計測できない試料は、事前に計測します。計測結果については、実習内で可能な範囲で公開し、受講者の学習資料としますので、他社の参加者に対して機密である場合には、原則として受け入れできません。
- (5) 試料の持ち込み希望が多い場合、すべての試料の事前計測が出来ないことがあります。その場合は、無料の「トライアルユース」をお申し込みいただき、別日程で計測を実施する場合があります。事前の技術相談でご依頼しますので、よろしくお願います。(トライアルユースは成果公開になります。)

## 【計測試料持ち込みに関する連絡先】

(公)兵庫県立大学高度産業科学技術研究所  
ニュースバル放射光施設 担当 工学博士 梅咲 則正  
TEL: 0791-58-2543 e-mail: umesaki@lasti.u-hyogo.ac.jp

## 実習風景



参加申込書に必要事項を記入し、  
**6月5日(水)までに** FAX又はE-mailで  
下記までお申し込みください。

## 姫路市役所 産業振興課

〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地  
TEL 079-221-2506 FAX 079-221-2508  
e-mail: [sankou@city.himeji.hyogo.jp](mailto:sankou@city.himeji.hyogo.jp)

受講が決定しましたら、6月5日以降にメールで集合時間等をご連絡します。

## 姫路市 企業人材育成プログラム ものづくりのための放射光分析実習 参加申込書

企業・団体名  
所在地

TEL

E-Mail

計測試料持込 有 ・ 無

参加者氏名	部署名・役職名

申込締切: 6月5日(水)必着